



第3回 WNH (Wound Nutrition Human Life) 「創傷・栄養と人生を考える」合宿

創傷ケアや栄養を考える時、突き詰めていくと、人の生き方(どのように生きていくのか・生きてきたのか)が大きく関与していることに気づきます。そこで今回も、各方面で大活躍中の10名に人生について語ってもらい、2日間一緒に過ごしながらディスカッションしていきたいと思えます。定員120名で企画しました。その他、日帰り席もあります。

WNH合宿実行委員長 高岡駅南クリニック院長 塚田邦夫

[日時] : 平成27年9月20日(日曜日)12:00 ~ 21日(月曜日)16:05

**[場所] : インテック大山研修センター <http://www.intec.co.jp/cov/ooyama.html>
富山市東黒牧140-1 Tel:076-483-8111**

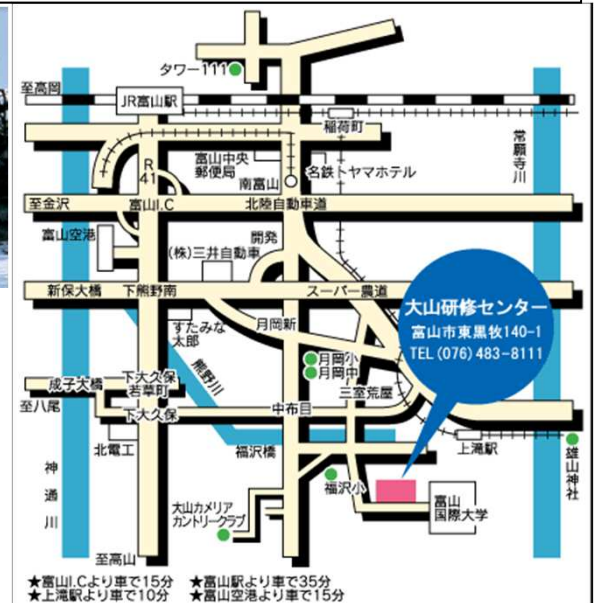
☆ プログラム ☆

<9月20日>

- 12:00~ 受付・企業展示
 12:50~ 開会挨拶と説明
 13:00~15:00 (1)栄養・創傷 演者:市原幸文・大浦紀彦 コメンター:荒金秀樹・榊原千秋
 15:10~18:20 (2)仲間と食と幸せ 演者:塙章一・荒金秀樹・藤代浩之 コメンター:吉宗誠・小山珠美・中山信子
 19:30~ 夕食会と懇親会

<9月21日>

- 7:00~ 朝食・企業展示
 8:30~9:00 企業のプレゼンテーション
 9:10~12:20 (3)自然な支え合い 演者:吉宗誠・榊原千秋・中山信子 コメンター:大浦紀彦・古屋聡・藤代浩之
 12:20~13:20 昼食・企業展示
 13:20~13:50 企業のプレゼンテーション
 14:00~16:00 (4)経口摂取・地域活動 演者:小山珠美・古屋聡 コメンター:塙章一・市原幸文
 16:00~ 閉会挨拶



[主催] : WNH合宿実行委員会、高岡駅南クリニック

**[後援] : 富山県理学療法士会、富山県看護協会、
富山県栄養士会、富山県医師会
富山県保険医協会、石川県保険医協会**

問い合わせ:高岡駅南クリニック 藪岡 Tel:0766-29-1200

申し込み :高岡駅南クリニック 担当 藪岡(やぶおか)

Tel:0766-29-1200、Fax:0766-29-1222

★富山Cより車で15分 ★富山駅より車で35分
★上滝駅より車で10分 ★富山空港より車で15分

本用紙を FAX にてお送りください

FAX : 0766-29-1222 高岡駅南クリニック 藪岡(やぶおか)

第3回 WNH 合宿 申込書

合宿参加希望の方は、下記の必要事項をお書きの上、FAX でお申し込み下さい。
締切は、9月5日を予定しております。

*御氏名		*施設名・所属部署名	
*連絡先住所			
*TEL / FAX	TEL	FAX	
e-mail			

*は必須事項 (FAX または e-mail のどちらか必ずご記入ください)

ご記入いただきました個人情報、本合宿以外の目的では使用いたしません。

1) 宿泊なしの方 (○をつけて下さい)

講演のみ(21日の昼食を含む)(事前受付 8,000 円、当日受付 10,000 円)、

懇親会 (7,000 円) 講演は1日のみでも両日参加でも費用は変わりません

2) 宿泊される方 (○をつけて下さい) : 講演・懇親会・朝食・昼食を含む(事前のみ)

1人 19,000 円 : **相部屋ですが、部屋割りは当方にお任せ下さい。**

同じ部屋がご希望の方は、連名で申し込んで下さい。

代表者名	1	(男・女)
同室者名	2	(男・女)
	3	(男・女)
	4	(男・女)

※申しいただきましたら、振込先を記載致しました申込受領のご案内を FAX または e-mail にて送付させていただきますのでお振込手続を宜しくお願い致します。

FAX 送信先 : 0766-29-1222(高岡駅南クリニック)担当:藪岡(やぶおか)

問い合わせ : 高岡駅南クリニック 事務局 藪岡治明 info@ekinan-clinic.com

<演者紹介>

- ・市原幸文 (愛全診療所 栄養ケアステーション愛全園)「在宅高齢者を尊重した栄養食事ケアの喜びと苦労話」訪問栄養実践の醍醐味と楽しさを存分に紹介して頂く。
- ・大浦紀彦 (杏林大学形成外科)「人中心の創傷ケアは視点が絶えず進化する」大病院勤務にもかかわらず、患者の希望に添う医療を実践。
- ・塙 章一 (塙歯科医院)「どのようになっても豊かな暮らしがあれば安心がついてくる」 「楽食」の考えのもと、食のユニバーサルデザインという概念を入れ、この哲学を地域で実践している。
- ・荒金英樹 (愛生会山科病院消化器外科)「単にお酒を飲むのはノコミュニケーションではない」京滋摂食・嚥下を考える会等、必然性のある組織を作り上げる時、そこに熱意と共にあそび心、そして宴会が必要。
- ・藤代浩之 ((有) ワインクリンクス)「ワインと食と健康」 ワインスクールを開講し、ワインの知識や雑学の話は尽きることがない。人生を謳歌する術を伝授して頂く。
- ・吉宗 誠 (合同会社 有歩道)「地域全体で支え合うと皆が生き生きする」行動力と揺るぎない熱意により地域を巻き込み、高齢者の能力を活かし、町全体が幸せな関係になった。
- ・榊原千秋 (NPO法人日本コンチネンズ協会北陸支部)「死を包む言葉 生きるセンス食べるセンス出すセンスを語る」難病支援に始まり、いのちにやさしいまちづくりを目指してネットワークやサークルを作って活動している。
- ・中山信子 (北陸メディカルサービス(株)八尾営業所ホームヘルパー)「在宅生活者の望みを叶え自然に暮らすことを支える」安心・安全が大切なのではなく、暮らしたい生活を送ることが大切。この人や家族の望みを叶えてあげることが大切。
- ・小山珠美 (JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院)「口から食べることを追求し、人生を考える」口から食べることの重要性和可能性。信念に基づく実践の積み重ねがあって初めて当たり前になる。
- ・古屋聡 (山梨市立牧丘病院)「日々の診療で最近考えること」絶えず患者や家族の思いに心を巡らせ、さらには自分自身の心の動きにまで目を向けて、熱い思いで日々の診療を実践。